様式１

年　　月　　日

ものづくり起業家支援室長　宛

**学内カンパニー　企画書**

下記のように学内カンパニーを設立したいので，承認を願いします．

|  |  |
| --- | --- |
| カンパニーの名称 |  |
| 代表者名 | （所属　　） |
| カンパニーの形態  　（委託事業か、自主事業か） |  |
| カンパニーの活動概要  （主な目的，期待できる業績など） |  |
| 人員構成 | 工学部教職員　　　　　　　　　　　　　　　　　　　名  　名前及び所属  社員（予定）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　名  　インターンシップ実習生　　　　　　　　　　　　　名  工学部外協力社（委託事業の場合）  　協力社名及び担当者  アドバイザー氏名、所属 |
| カンパニーの予算案 | 収入　　　　　　　合計　　　　　　　　　　　　千円  　外部収入　　　　　　　　　　　　　　　　　　千円  　　　内訳　　　企業補助金　　　　　　　　　　千円  　　　　　　　　部品等補助　　　　　　　　　　千円  　EF活動補助金（注）　　　　　　　　 　　　千円  EFインターンシップ実習生教育補助　　 　　　千円  　その他（　　　　　　　　　　） 千円  支出　　　　　　　合計　　　　　 　　　　千円  　消耗品　　　　　　　　　　　　 　　　　千円  　人件費　　　　　　　　　　　　 　　　　千円  　その他（　　　　　　　　　　） 千円 |

注　EF活動補助金は最大１００万円とし，そのうち６割以上が社員への人件費に充当されるものとする。

様式１－①

カンパニーの事業化計画

|  |  |
| --- | --- |
| １．製品又は活動の内容  開発する製品、又は売上に繋がる行為の具体的内容 |  |
| ２．市場性  市場における価値、独創性  市場への参入の仕方 |  |
| ３．当初の事業化（仮想）計画  事業成果を具体的に記入する（仮想）　仮想ではあるが、出切るだけ現実性を考慮する。  損益（必ずしも黒字で有る必要は無い）を明確にすること |  |
| ４．技術的課題  越えなければならない課題　予測される技術的問題とその対処策　足りない技術、設備等の補完方法 |  |
| ５．次年度以降の計画  必要なら２ヶ年計画を記述する |  |

様式１－②

カンパニーの教育訓練計画

|  |  |
| --- | --- |
| １．社員への教育訓練項目  必要な知識、技術を具体的に記入。　どの様にそれを教育するか。誰がやるか。  事業の中で訓練される能力を具体的に記述する。　社員とインターシップ生の教育成果を明確にする。 | 事前教育（希望）    事業内訓練 |
| ２．インターシップ生への教育訓練項目 |  |
| ３．学外教育訓練項目 |  |
| ４．全体を通して |  |
| ５．その他 |  |